

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
1	R4.11.11	市政懇談会	花南	商工観光部 建設部	商工労政課 道路課	花南地区における産業・交通インフラ整備の進捗状況について	<p>花巻市都市計画マスタープラン変更によって県南の産業集積の一翼を担い、地域経済を牽引する拠点として、利便性が高く活発な経済活動が営まれる工業・流通拠点として期待される花南地区。</p> <p>現在、整備計画が進む花南地区産業団地や、(仮称)花巻PAスマートインターチェンジ及び接続する都市計画道路山の神諏訪線、市道上町成田線南城工区の道路・歩道整備、国道4号線の4車線化などについて進捗状況や整備完了の目途をお伺いいたします。</p>	<p>【商工労政課長】 本市の産業団地の整備については、令和元年度に策定した国土利用計画花巻市計画で市内5ヶ所(二枚橋、南寺林、花巻流通業務団地西脇、実相寺・山の神、(仮称)花巻スマートインターチェンジ周辺)を候補地として位置付けている。 実相寺・山の神地区(通称:花南地区)については、都市計画で、第1種低層住居専用地域となっており、スピーディな産業団地の整備が可能なエリアであることから、(仮称)花巻スマートインターチェンジや市道山の神諏訪線などのインフラ整備を視野に入れた産業団地整備の可能性を検討するため、計画の策定や各種調査などを令和2年度から実施し、全33haの計画面積のうち中央部の約12haを整備する方針を固め、今年度は用地買収や支障物件の補償、実施設計の実施など、本格的な整備に向けて取り組んでいる。特に用地買収や支障物件の補償については、地元地権者や物件所有者の特段のご理解、ご協力をいただき、概ね順調に進んでいるものと理解しており、この場をお借りして御礼を申し上げます。 花南地区の新たな産業団地は、スマートICや国道4号、さらには市道山の神諏訪線などの主要道路に近接しているほか、北上市に隣接する地理的条件を具備していること、さらには、分譲開始時期などの照会を電話などで複数いただいていることを勘案すると、企業側からも当該団地に興味を持っていただいているものと感じている。 令和5年度以降は、埋蔵文化財の発掘調査や各種申請手続きと造成にかかる本工事、附帯工事の施工などを予定しており、これらが順調に進むと仮定すると、令和7年度からの分譲となると見込んでいるが、前述の各種調査や手続きのほか、工法を工夫することなどにより、1日でも早い分譲ができるよう検討を進めている。なお、残る約21haの整備、拡張については、企業側からの照会、引き合いが寄せられていることから、残るエリアの拡張についても進める方向で目指してまいりたい。</p> <p>また、団地内には、一定割合(整備面積の3%以上)の面積を有する公園を整備する必要があるが、分散配置ではなく、今回整備予定の中央部に集約配置(約1ha程度)する計画を進めている。整備にあたっては、庁内の関係課と協議、調整を行っているほか、どのような公園の整備が望ましいのか、地元や利用が想定される子育て世代の意見を反映させ、魅力があり利便性の高い公園の整備を検討していきたいと考えており、南城小学校の保護者の皆様や各保育園の保護者の皆様、コミュニティ会議の皆様など、多くの方にアンケートをお願いしたいと考えているので、ぜひ協力いただきたい。</p> <p>【道路課長】 現在整備を進めている(仮称)花巻PAスマートインターチェンジについては、令和3年10月よりNEXCO東日本で土工事を施工しているが、今後、NEXCO東日本が施工する舗装工事や建築工事、岩手県が施工する一般県道花巻和賀線の右折レーン設置工事が実施される予定であり、令和5年度中の開通を目標としている。 次に、都市計画道路山の神諏訪線について、一般県道山の神西宮野目線から市道瀬畑口下根子線までの第1工区860mは令和3年12月24日に供用開始している。南諏訪町より西側の市道不動下根子線から一般県道花巻和賀線までの第2工区460mは令和4年12月1日に開通し、これをもって全線開通となる。 山の神諏訪線の安全対策については、令和3年12月に供用開始した第1工区の瀬畑口下根子線との交差点において、供用開始以降今年10月末までに7件の交通事故が発生しており、市では今年3月にカラー舗装をし、10月には電光掲示板を設置することで、運転者に対する注意喚起の対策を行っている。また、岩手県公安委員会においては今年11月中に市道瀬畑口下根子線側に「止まれ」の規制標識と、交差点西側に山の神諏訪線を横断する「横断歩道」を設置する予定としている。 なお山の神諏訪線は、来年度予定されている(仮称)花巻PAスマートインターチェンジの供用開始に伴って交通量の増加が見込まれることから、市は全線の主要な交差点6箇所(一般県道花巻和賀線、(仮称)花巻PAスマートインターチェンジ入口、市道不動下根子線、市道瀬畑口下根子線、市道材木町山の神線、一般県道山の神西宮野目線)への信号機の設置について、花巻警察署及び岩手県警察本部交通規制課に対して要望を行っているところであり、今後の状況に注視しながら引き続き安全対策に努めてまいりたい。 市道上町成田線南城工区については、令和元年度から測量設計を行っており、令和3年9月から令和4年8月の工期で南城小学校校庭南側交差点から北上方面に向かって221mの区間の車道拡幅(東側)を行っている。また、北上側終点から花巻方面に向かって57mの区間については西側歩道を施工している。 現在は用地買収の交渉を行っているが、難航している状態であり、ご協力いただけるよう今後も用地交渉を継続していく。 今年8月11日から14日の豪雨により、「奥州街道なごりの松」の周辺で土砂崩れが発生したが、市ではブルーシートをかけて養生をし、悪化しないように対策をとってきた。現在は復旧に向けてボーリング調査を行うなど、対策工事を実施するため工法等の検討を行っている。また、現場に異常がないか随時監視をしており、現時点では大きな変化は見られないが、今後も継続して監視を行っていく。 一般国道4号北上花巻道路の4車線拡幅事業は、令和2年度から事業着手しており、今年度は用地取得協議や道路設計に加え、北上市側の既に国有地となっている箇所について、小規模ながら工事着手していると伺っている。来年度も引き続き、用地取得協議や道路設計及び工事の進捗を図る予定と伺っているが、花巻市側の工事着手や整備完了の目処については、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所に伺ったところ、「現状は用地取得協議を継続している段階であり、整備完了等の目処については明確にお答えできない状況ですが、国土交通省では「5年で見えるみちづくり」として、概ね5年間の開通見通しを公表する取り組みを行っており、用地買収の目処が立った時点で完成予定時期を公表して参りたい。」との回答であった。 市としては、早期完成が図られるよう用地協議等において引き続き協力して参りたいと考えている。</p>

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
2	R4.11.11	市政懇談会	花南	建設部	道路課	道路の安全性について	<p>市道上町成田線について、朝方に子供の見守りのためにローソンの交差点付近に立っているが、交通量が増えてきている。 道路をよく見ると、亀裂が入って、それを埋めた跡があるように見える。 土砂崩れは予想外の大雨が降ったことが原因で起きたことなのかもしれないが、その道路は大型車も通っているため、心配である。</p>	<p>【道路課長】 崖が崩れた原因については、外部のコンサルタントに依頼をし、ボーリング調査を行っているところである。調査の途中経過として、大雨で表面が流れ落ちたことが原因で、古くからの要因が影響している可能性があると同っている。崩れたことにより、表面が露出し、水が湧いているところが確認できており、それも1か所から出ているのではなく、いろんなところから湧き出ている状況であった。コンサルタントの見解としては、川が流れた跡で、えぐれたような地形となっていることから、多かれ少なかれ徐々に流れ落ちているのだらうとのことであった。湧水については、おそらく一年中出続けているものと思われるが、この水は近くの高台に降った雨水が地下水として流れてきているとしか考えられず、それを止めることは難しいとの見解であった。 この部分について、早急に復旧工事をしなければいけないところではあるが、対応について現在検討中である。 道路自体は、構造的に厚い舗装となっており、大型車が通行しても支障がないこととなっているが、道路表面のクラックから雨水が染み込んでいくと悪影響が生じる可能性があるため、まずはクラックを埋める対応をしている。 また、新しいガードレールも設置しているが、雨水が崖のほうに流れ落ちていかにないように土嚢袋を並べ、南側のローソンの方に水が流れるようにしている。ガードレールの近くにはカラーコーンも設置しているが、これは事故などがあつた際に状況が悪化してしまう可能性があることから、道路の端を走られないようにするためのものである。 崖崩れの進行状況の観測については、クラックの左右にピンを打ち、そのピンが離れていないか確認する方法で行っている。観測に当たっては、相当数ピンを打っているが、現時点では動きは見られていない。今後についても、コンサルタントからの助言のとおり、観測は継続していきたい。 今後の対策については、コンサルタントより、崩れ落ちた土を単に戻せばいいということではなく、何らかの法面対策をした方がいいと言われている。現在は来年度にそうした対策を実施できるよう、予算確保に向けた見積もりの依頼をしているところであり、冬期間は工事ができないため、4月以降に復旧工事を進められるよう準備を進めているところである。</p> <p>【市長】 当市の建設部長は国交省の方で技術者であることから、対策について聞いたところ、方法はあるということであったので、コンサルタントと打ち合わせをしながら、安全を守るための対策を検討をしている状況である。 億単位の費用が掛かることになるが、安全を守るために必要なことであるので、しっかりと対応していきたいと考えている。</p>
3	R4.11.11	市政懇談会	花南	建設部	道路課	「奥州街道なごりの松」の保存について	<p>今の説明では崖崩れと掘削道路拡幅工事には因果関係がないということであったが、実際に撮った写真を見るとそうではないと思う。 「奥州街道なごりの松」は花南地区の最高の財産だと思っているが、根っこがかなり寸断されており、このように傷つけられるのは心外である。もしもこの松がひっくり返るようなことがあれば、花南地区の最高の財産の損失である。</p>	<p>【道路課長】 ガードレールを新しくするための工事をする際に、草刈りなどをして表土が露出することになって、それが影響したことも否定できないと思っている。草の根がしっかりとしており、水が法面の表面を流れていけなかったところを、きれいに整形したことにより、水が表面を流れやすくなった可能性はあると思う。コンサルタントの見立てとしては、川が流れた跡の場所であり、じわじわと崩れてきている地形であることから、今は松が横になって何とか生きている状況だが、今後も松が成長して重くなってくると、いずれは落ちてしまうことも考えられるとのことであった。 そうした情報を掴んでいることから、法面の対策工事をどういう方法で行えばいいか検討している段階であり、法面の保護と松を生かすことを両立できるのか、現時点で結論を出せていない状況である。</p> <p>【市長】 整備を始める段階では、松は残して問題ないということで始めたものであるが、今のコンサルタントの話によると、壁面を強くすることと松を生かすことを両立できるか現時点では分からないということであるので、しっかりと調査をしてもらう。 道路の整備よりも松が大事ということであれば、これ以上崩れることのないような最低限の整備でやめるということもあるかもしれないが、交通量が増えることもあり、市としては、子ども達の安全を考えると歩道の整備はしたいと思っている。 場合によって、反対側に数億円かかっても整備するべきだということがあれば、皆さんと相談のうえで判断していきたいが、用地買収が難航して整備が遅れるということが考えられる。 市としては、山の神諏訪線と材木町山の神線をしっかりと整備し、北上市側で北飯豊線を整備してもらい、一つの大きな道にしたいと考えている。また、それだけでは不足であることから、4号線の4車線化を進めている。さらに、交通量の増加も見込んで、上町成田線の整備も必要と考えている。 予定通り上町成田線への歩道整備ができない場合に、現時点で他の方法は考えていないが、反対側の人家を壊して道路を造るというのは、所有者の気持ちの問題や費用の面からも難しいと思う。</p>
4	R4.11.11	市政懇談会	花南	建設部	道路課	道路整備の方法について	<p>松の東側には民家がないため、埋め立てて道路を整備するなどの方法がとれるのではないかと。</p>	<p>東側の崖下を埋め立てることについて、以前に方法の一つとして検討したことはあるが、崖の下の地盤が非常に軟弱で技術的に工事が困難であり、また、埋め立てをして道路を整備すると費用が多く掛かってしまうことから、現在の形で整備をすることとしたところである。 現在は、法面の復旧と松を残すことを両立できるか検討している段階であり、すぐにはお答えできない。</p>

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
5	R4.11.11	市政懇談会	花南	建設部	道路課	信号機の設置について	山の神諏訪線について、スマートインターチェンジから東に向かっていくと、最初の交差点では「止まれ」、次の交差点は通れる、次の交差点では「止まれ」となっており、違和感がある。 また、不動橋から北上に行く道路と山の神諏訪線の交差点は、カーブミラーがあるが、見通しが悪くなっている。止まれの表示はあるが、今後スマートインターチェンジが開通すると交通量も増えると予想されるため、早めに信号機を設置した方がいいと思う。	ご意見のとおり、止まれと優先が交互にきて、ドライバーにとっては紛らわしい形となっており、確実に制御するためには信号を設置するのが理想だと思う。 信号の設置については、県の公安委員会で決定するものであり、市では警察に対し要望を行っている。道路が開通する12月1日には設置が間に合わないが、この道路は設計の段階で将来的に信号や横断歩道がついてもいいような形状で整備していることから、何とか信号を設置していただけるよう、強く要望していきたい。 市は道路管理者として、路面を赤く塗ったり、電光掲示板を設置するなど、季節に関係なく少しでもドライバーへの注意喚起が図られるような対応を行っている。
6	R4.11.11	市政懇談会	花南	建設部	道路課	アスカーブの設置について	上町成田線で崖が崩れているが、これから北の方に整備を進めていった際に、同じようなことが起こると思うので、アスカーブを設置してはどうか。 アスカーブを設置し、20m、30mおきで流せば、崩れることはないのではないかとと思うので、検討いただきたい。	アスカーブは、道路の端に幅20cm、高さ20cmほどのアスファルトの塊を付けて、水が流れないようにするものであるが、設置するためには機械で力をかけて押し付ける必要があり、あまりに道路の端に寄りすぎるとガードレールが支障となって設置できない場合もある。 コンサルタントの話では、端の方に機械を乗せて力を加えていいか判断が難しいということであったため、同じような効果が期待できる応急処置として、土嚢を設置したところである。 今後については、アスカーブの方が隙間なく水を止めることができることから、そうした対応をした方がいいか、また、機械で施工しても大丈夫かコンサルタントから意見を聞き、必要であれば設置を検討していきたい。
7	R4.11.11	市政懇談会	花南	建設部	道路課	横断歩道の整備とカラー舗装について	花巻病院付近の事故が多い所について、電光掲示板が設置されて良かったと思うが、設置した後も事故が発生している。 あの辺りは通学路にもなっており、通学路の部分だけは横断歩道がほしいと思っているが、設置してもらえるものか確認したい。 また、みのり幼稚園から西に進むとカラー舗装が途切れているが、大型トラックも通行する道路であり、歩道を設置したことで道幅も狭くなっているため、可能であれば幼稚園から花南水道の辺りまでカラー舗装をお願いしたい。	現状としては、南城小学校から踏切を渡って花巻病院の方へ向かうと、病院のところまで歩道がなくなっている。ここから先については、区画整理事業で宅地を整備している地域であり、用地買収が非常に困難で、歩道の整備ができていない状況である。 そこで、市では、以前から子ども達が通行できるよう路肩を広げており、さらにドライバーからも分かりやすいように緑色のカラー舗装を行っている。 また、横断歩道についても、警察の方で「止まれ」の標識設置を併せて整備していただくこととなっている。 緑色のカラー舗装については、みのり幼稚園のところで途切れているが、そこから先の部分についても舗装する必要があるのではと考えている。どこまでカラー舗装をすればいいのかを地域の皆様と相談しながら、実現できるように進めていきたい。
8	R4.11.11	市政懇談会	花南	農林部	農政課	水路整備について	観光ブドウ園の下の水田について、土側溝になっているところがあったため、国の予算を使ってコンクリート側溝に変えている。 まだまだ土側溝の部分が多くあるが、そのエリアは都市計画マスタープランにおいて、商業・業務・居住複合ゾーンとなっており、今後の水路工事についてどのように進め方に迷っている。コンクリート側溝にした後に、住宅地や工業地帯になるということであれば、後処理が大変になるため、今後の見通しを伺いたい。	その土地が農振地域に該当する場合、農水省は基本的に農振除外を認めない。 農振地域となっていない場合で住宅等を整備するのにいい土地であれば、今後住宅整備などが行われる可能性はあるので、コンクリート側溝を整備することについて慎重に検討した方がいいと思う。

番号	年月日	種別	地区名	担当部	担当課	参加者発言趣旨 (タイトル)	内容(要旨)	懇談会での回答(現状・取り組み状況等)
9	R4.11.11	市政懇談会	花南	市民生活部	生活環境課	集積所の移設について	不動橋から北上方面に行く道路の丁字路のところに集積所があるが、朝方に車が数台停まっており、非常に混み合っている。これまで何度か危険な状況も目撃しているが、道路が開通するとより危険な状況になるのではないかと懸念している。集積所の場所を移すことはできないのか。	集積所については、基本的に各地区で作っていただいているものであるため、地区の方々の総意として移したいという意向であれば移すことは可能である。 危険な状況があるのであれば移設した方がいいと思うので、生活環境課にご相談いただきたい。
10	R4.11.11	市政懇談会	花南	建設部	道路課	信号機の設置について	山の神諏訪線と材木町山の神線との交差点で交通量が多く、小学生がなかなか横断できないという状況が発生している。その交差点に信号機を設置してほしいという声が南城小学校のPTAの中で出たので、対応をお願いしたい。	交差点への信号機の設置については、警察に要望を行っている。 しかし、信号については、警察が集めた反則金で設置されているものであり、予算が限られていることから、市内で一度に何か所も設置するというのは難しい。 市として、安全のために電光掲示板の設置などの対策をしていることは県警にも伝えているが、より安全を確保するためにも信号機の設置をお願いしたいと話している。来年以降も継続して要望を行い、信号機を設置していただけるよう動いていきたい。
11	R4.11.11	市政懇談会	花南	建設部	道路課	道路整備の工期と横断歩道に関する連絡先について	諏訪2号線の舗装が確定したとのことだが、ここからさらに2、3年時間がかかると聞いている。もう少し早く完成させることはできないのか。 また、以前に横断歩道の線が消えていることについて、警察署に連絡したところ、市道のため市で対応すると言われたが、市に連絡すればいいのか。	諏訪2号線の工事については、用地買収や移転補償が終わっていない部分があるため、来年度に引き続き実施する予定である。来年度に用地買収と移転補償をした後は、側溝を入れるなどの道路改良工事を行い、舗装する必要があるため、時間は掛かってしまう。 なお、交差点の角に新たな事業所が建てられたことにより見通しが悪くなっており、また、不動橋から北上に向かう大きな道路に出る際にすれ違いができないような形となっていたため、交差点部分については建築工事と併せて先行して整備することとし、今年度工事を発注している。 道路の白線については、市道であればほとんどは市で対応するものになるが、横断歩道と停止線の交通規制に関する部分については警察でなければ対応できないこととなっている。 今回の件についても、道路課に場所をお話しいただければ、警察にお伝える。
12	R4.11.11	市政懇談会	花南	建設部	道路課	優先道路について	12月1日からスマートインターチェンジのところに新しい道路が開通となるとのことだが、どちらが優先道路となるのか。 北上に向かう道路では時速70km以上出している車があるため、その道路を一時停止にすればいいのではと思うが、そうしたことは可能か。	不動橋から北上方面へ向かう道路が優先道路となる。 交通規制については、警察で考えるものであり、意見をお伝えしたとしても最終的な判断は警察ですることになる。
13	R4.11.11	市政懇談会	花南	地域振興部 商工観光部	地域づくり課 商工労政課	市政懇談会における資料の配布について	産業団地の説明について、時系列でいつまでに何をすることが分かる資料が欲しい。 以前にも話をしたことがあるが、懇談会の場で口頭での説明だけだと、言った言わないの問題が起こる可能性があると思う。	市政懇談会は市内27か所で開催しており、時期によっては週に2回懇談会を開催することもある。プロジェクターを使って資料を映しながら説明できればいいと思うが、説明のための原稿を作成するのにも相当の時間を要しており、それに加えて資料を作成することは難しい。 産業団地については、令和7年度までに売却に入りたいと考えている。現在は用地買収を進めている段階であり、今年度中に大部分の用地買収を終えたいと思っている。来年度からは文化財調査を実施する予定としており、調査期間は1年程かかると言われているが、期間を短くできないか話しているところである。また、その後に行われる土木工事についても、工期を短くできないか調整しており、現時点では令和7年度に売却を開始するというスケジュールとなっているが、少しでも早められるように努めている。 団地内に整備する公園については、コミュニティ会議の方々や幼稚園、保育園、学校関係者の方々へのアンケート調査の準備をしているところであり、その結果を踏まえて、どのような公園を造るか検討していきたい。